



ゆかりびと

第 23 回

【前列】

矢板東高校2年

菊池 恵生 さん

矢板東高校2年

黒澤 菜々美 さん

【後列】

矢板東高校1年

鈴木 唯菜 さん

矢板東高校1年

高根澤 風花 さん

矢板東高校1年

小川 木実 さん



まんが甲子園で実質“日本一”！ 3年ぶりの本選出場でW受賞の快挙



予選を勝ち抜いた高校ペン児たちが、腕を競い合う「第34回まんが甲子園」が高知県で開催され、矢板東高校美術部が見事、第2位と全日空賞のダブル受賞を果たしました。同校は毎年予選にエントリーしていますが、今回は3年ぶりに予選を突破しての本選出場。しかも、制作した2作品が共に最終審査に残る快進撃を見せました。

本大会では、5つのテーマの中からランダムに2つが出題され、限られた時間内にB2パネルへ作品を描き上げるというもの。メンバー5人は、全テーマに対しチームで準備を重ね、練習を重ねて本選に挑みました。

1日目の作品を見て、他校のハイレベルな表現に驚きつつも、「2日目へ向けてチームの結束がより強まった」と話すメンバー。結果的に最優秀賞はアクシデントにより該当者なしとなったため、矢板東高の作品が実質1位と評価される結果に。

顧問の市川先生は「本選に向けた準備期間の中で、一人ひとりが大きく成長した。とてもいいチームだった」と話します。メンバーは「みんなでがんばった結果が評価されてうれしい」と、達成感と喜びの笑顔を見せてくれました。

Editor's Note 編集後記

▷年々、ふるさとまつり実行委員の皆さんと仲が深まり（と思っていますが）、今年は光栄にも実行委員Tシャツをいただきました。うれしい！バックプリントの「祭」を見せびらかしたくて、リュックを持たず取材開始。腕はパンパンですが悔いなし！（DYC）

▷今年のふるさとまつりは1日雨予報で、残念に思いながら雨具の準備をして取材に。しかし、皆さんの楽しみにしていた想いが届いたようで、開会式から雨が止み始め、イベント終了まで傘を差さずに過ごせました！奇跡！（あ）